

第 66 回山形県南北対抗柔道大会 山形県柔道高段者大会に伴う  
＜新型コロナウイルス感染防止対策＞

1 健康記録表提出義務等

- (1) 新型コロナウイルスに係るクラスターの発生を予防し、もし感染が発生した場合の濃厚接触者の追跡を容易にするため、大会参加者(選手、監督、役員、係員等)は、大会1週間前からの体温と症状の有無を記した「健康チェックシート」(別添1)及び「大会当日用健康チェックシート」(別添2)を当日提出すること。  
また入場に当たっては、改めて体温測定を行う。
- (2) 各軍の監督は、大会当日、「利用者名簿」(選手・役員・審判を含む)(別添3)を受付に提出すること。
- (3) 健康記録表に異常がある場合や以下の場合には原則入場できない。
  - ① 体調がよくない場合(37.0 度を超えるような発熱、咳、臭覚・味覚に異常等がある場合)
  - ② 同居家族や身近な知人等に感染が疑われる方がいる場合  
また入場しても発熱や決められた感染予防措置を遵守できないときには退場してもらうことになる場合があることを予め了承すること。
- (4) 本大会に参加するすべての関係者は、日本スポーツ協会が推奨する体温・体調記録アプリ「GLOBAL SAFETY」をダウンロードし、大会参加2週間前と終了後2週間の行動記録と健康観察を記録し、競技会場への入退場時にはこれを証明すること。
- (2) アプリの活用が困難な参加者においては、「健康チェックシート」(別添1)及び「大会当日用健康チェックシート」(別添2)をもってこれに代える。  
上記、2つの手段により大会参加2週間前の行動記録と健康観察記録が証明できない場合には、競技会場への入場はできない。

2 「GLOBAL SAFETY」をダウンロードと利用方法

- (1) 右の QR コードよりダウンロードできる。
- (2) 利用方法は以下からダウンロードできる。

<https://www.gshc2020.com/>



App Store



Googl Piay

- (3) 選手・大会役員・競技役員・審判員・競技補助などの大会参加予定者は、予め個々に、ダウンロードし、参加予定の2週間前から記録を行う。

3 具体的な感染予防措置

全ての参加者(選手、監督、役員、係員等)は、大会会場に入場する場合、不織布マスクの着用、手洗い、手指の消毒等を確実に実施すること。

※ 選手も対戦中以外はマスクを着用すること。

4 監督・副監督について

選手と同様の健康記録表を提出すること。試合中は大声での指示・指導は禁止し、審判員に厳重注意と退場の権限を与える。(これは選手等も対象とします)

## 5 審判員、役員及び係員の対応

審判時もマスクを着用する(1審制を予定)。

試合中、大声を出す監督や選手には、嚴重注意をするとともに、守らなければ退場させる強い権限を有する。

役員・係員は、ソーシャルディスタンスを確保し、常時マスクの着用を原則とする

## 6 その他

要所・要所に「手の消毒」「マスクの着用」等の張り紙をするなどして、周知徹底を図る。